

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報							
事務事業コード	0103010505030901	事務事業名	国分舞鶴園老人ホーム運営事業		担当部	保健福祉部	
					担当課	国分舞鶴園	
政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり			担当課長	山下 広行	
施策名	03	地域における福祉の推進			グループ	管理グループ	
基本事業名	04	高齢者の自立支援サービス			内線番号	なし	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 48 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)		
	款	03 民生費			根拠法令・条例等	霧島市養護老人ホームの設置及び管理に関する条例等	
	項	01 社会福祉費					
	目	05 養護老人ホーム費					
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	第6期高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画		

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

老人福祉法や社会福祉法に規定されている老人福祉施設である国分舞鶴園は、市が設置・運営を行っている養護老人ホームであり、昭和48年、国分重久241番地に開設され、平成11年12月に、現在地の国分重久269番地3へ移転された。入所されている方は、65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活が困難な高齢者を行政責任において措置している。入所者に対しては、心身の健康の保持及び生活の安定のため、日常生活では、介護、食事、健康管理、生活相談を行い、また、生きがいを感じながら楽しく生活ができるように、さまざまな行事やイベント、クラブ活動等も実施している。
定員55名。
※平成27年度で事業廃止。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	入所者数	人	53	53	50		
イ							
ウ							

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (実績)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	入所者	人	53	53	50		
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	安心して日常生活を送れる	件	0	0	0		
イ							
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	介護・福祉サービスが受けられる	人	5,891	5,600	6,065		
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成18年4月1日に、養護老人ホームの基準が改正され、入所者の介護保険サービスの利用が可能となった。また、入所者の高齢化が進み、身体機能の衰えや認知症の発症などにより特別養護老人ホームやグループホームへ配置換えしなければならない入所者が増えた。なお、ご家族からは安心して預けられると喜ばれている。一方、議会から養護老人ホームの入所率の低下、民営化計画に対して質問が出ており、「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」のなかでは、民営化の提言がなされている。

4. 事業費の推移

単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (決算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円 0	0	0	0
	県支出金	千円 0	0	0	0
	地方債	千円 0	0	0	0
	その他	千円 12,601	14,321	10,391	0
	一般財源	千円 52,064	62,754	57,819	0
	事業費	千円 64,665	77,075	68,210	0

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【入所者の生活面での介助】洗濯、入浴、看護、食事の提供、栄養管理、生活指導、健康管理、投薬管理、処遇計画、預金管理、各種保険料の納付などの介助を行った。</p> <p>【介護保険制度の活用】介護保険の認定を受けている方で、本人の希望があれば介護サービス事業者と協議し、通所介護サービス等の利用を行った。</p> <p>【行事等の開催】誕生会、節分、花見、七夕、夏祭り、敬老会、一日遠足など季節の行事を行い、園外研修活動も実施した。</p> <p>【入所者の居室等の改善】入所者のADLや入所者同士の関係に配慮しながら部屋替等を行った。</p>	<p>【入所者の生活面での介助】入所者が健康で安心して毎日生活できるように、入浴の介助や生活指導、健康管理を行うなど、職員一人ひとりが入所者をサポートし、充実した園生活を送ることができた。</p> <p>【行事等の開催】各種行事を開催し、季節感を大切に。また旬の食材や園内で生産した梅やサツマイモを給食等に使用し大変喜ばれた。また、一日旅行や運動会等の各種行事の開催により生きがいの持てる園生活を支援できた。</p> <p>【民営化への対応】平成28年度より、社会福祉法人「政典会」へ運営が引継がれることから、スムーズに移行できるよう(民営化に伴う)作業を行った。</p>

事務事業コード	0103010505030401	事務事業名	国分舞鶴園老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	国分舞鶴園

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由	
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？		
	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない		
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？		
	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない		
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？		
	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない		
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？	類似事業がある場合の事務事業名等	
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？		
	<input type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる		
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？		
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？		
	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある		

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性					
		< 廃止 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)							
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	0103010505030902	事務事業名	日当山春光園老人ホーム運営事業		担当部	保健福祉部
					担当課	日当山春光園
政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり			担当課長	末原 トシ子
施策名	03	地域における福祉の推進			グループ	管理グループ
基本事業名	04	高齢者の自立支援サービス			内線番号	42-0001
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 49 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)	
	款	03 民生費				
	項	01 社会福祉費				
	目	05 養護老人ホーム費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	霧島市養護老人ホームの設置及び管理に関する条例、同施行規則 第6期高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

老人福祉法や社会福祉法に規定されている老人福祉施設である日当山春光園は、市が設置・運営を行っている養護老人ホームで、昭和49年に経営主体を県社会福祉事業団より隼人町に移管され隼人町立となる。平成17年の合併により霧島市立となり現在に至っている。
 入所されている方は、65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活が困難な高齢者を行政責任において措置している。入所者が安心して日常生活を送れるよう支援を行っている。入所者に対しては、心身の健康の保持及び生活の安定のため、日常生活では、介護、食事、健康管理、生活相談を行い、また生きがいを感じながら楽しく生活できるように、さまざまな行事やイベント、クラブ活動等も実施している。
 定員50名

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	入所者数	人	33	40	30	40
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	入所者	人	33	40	30	40
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	安心して日常生活を送れる。	件	0	0	0	0
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにとどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	介護・福祉サービスが受けられる	人	5,891	5,600	6,065	5,700
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等

(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成18年4月1日に、養護老人ホームの基準が改正され、入所者の介護保険サービスの利用が可能となった。また、入所者の高齢化が進み身体機能の衰えや認知症の発症などにより特別養護老人ホームやグループホームへ配置替えしなければならぬ入所者が増えた。なお、ご家族からは安心して預けられると喜ばれている。
 一方、議会からは養護老人ホームの入所率の低下、民営化計画に対して質問が出ており、「霧島市保健福祉施設実施計画」のなかでは民営化の提言がなされている。

4. 事業費の推移

		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		その他	千円	24,458	40,503	25,403	30,217
		一般財源	千円	44,912	32,068	37,081	41,121
		事業費	千円	69,370	72,571	62,484	71,338
投入量							

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績 (取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【入所者の生活面での介助】 洗濯、入浴、看護、食事の提供、栄養管理、健康管理、投薬管理、預金管理、各種保険料の納付などの介助を行った。 【職員会議・処遇会議の開催】 職員会議・処遇会議を開催し、入所者が健康で安心して生活できるよう、洗濯・入浴・栄養管理等の様々な介助を行った。 【行事等の開催】 誕生会、新年会、節分、花見、七夕、夏祭り、園外研修、ハッピー大賞など、季節の行事を行った。 【入所者の居室の改善】 入所者のADLや入所者同士の関係に配慮しながら部屋替えを行った。</p>	<p>【入所者の生活面での】 入浴介助や生活指導、健康管理を行うなど、職員1人ひとりが入所者をサポートし、充実した園生活を送ることができた。 【職員会議・処遇会議の開催】 職員間の情報の共有化を図るとともに、入所者個々の問題点を把握し、その人にあつた処遇を行った。 【行事等の開催】 各種行事を開催し、季節感を大切に。また、旬の食材を使用し季節感のある食事を提供し大変喜ばれた。 【入所者の居室等の改善】 ADLに合った部屋の配置や入所者間の人間関係の修復を行った。</p>

事務事業コード	0103010505030402	事務事業名	日当山春光園老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	日当山春光園

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	地域社会で支えることができない社会的な援護を必要とする高齢者を受け入れて養護することは、基本事業の意図に結びついている。
	② この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ 税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	老人福祉法による措置で、入所可能な施設は必要であるが、平成17年度の国の三位一体改革で、入所費用が市町村の一般財源により負担する形となったことや設置・運営については、市だけでなく社会福祉法人も可能なことから、必ずしも市で行う必要はない。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設の管理運営に関する苦情はないことから、成果が向上することはないが、入所者の希望を聞き、できるだけ叶え、生きがいを持って生活できるように今後も努力していく。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がほとんどない	養護老人ホームの設置・運営については、市だけでなく社会福祉法人も行えることから、事業が引き継がれれば影響はない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 横川長安寮運営事業 他の施設と連携できる。
	⑥ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ 補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入所者が、日常生活を営むために必要な食費・日用品費及び施設を維持するために必要な費用であり、削減することは難しい。
C 効率性	⑦ 事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ 職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	民営化や指定管理の方法によれば削減の余地がある。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	入所者の負担金は、入所者の収入によって階層により額が決まっており公平である。また、受益の機会についても、入所判定専門部会を経て入所されており公平性は保たれている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 継続・コスト縮小・連携					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	入所者が園での生活を、毎日楽しく快適に過ごし、生きがいを見出せるように、各種のサービスや行事等を工夫する。入所者一人ひとりにあった介助を行う。行事や座談会などを通して入所者と対話する機会を増やす。介護保険の認定者については、本人の希望に沿ったサービスの提供を行えるよう、関係機関と連絡・調整を行う。「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」に基づき民営化が決定した場合には、移行に支障をきたさないように事業を進めていく。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	入所者が園での生活を毎日楽しく快適に過ごし、生きがいを見出せるように各種のサービスや行事等を工夫する。入所者一人ひとりにあった介助を行う。介護保険の認定者については、本人の希望に沿ったサービスの提供を行えるよう、関係機関と連絡・調整を行う。「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」に基づき平成29年4月までに民営化に移行した場合は事業終了となる。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

平成28年度 事務事業振返りシート (平成27年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報						
事務事業コード	01030105050309003	事務事業名	横川長安寮老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部	
				担当課	横川長安寮	
政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり		担当課長	田中 和久	
施策名	03	地域における福祉の推進		グループ	管理グループ	
基本事業名	04	高齢者の自立支援サービス		内線番号	72-0146	
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 S 31 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (～)	
	款	03 民生費			根拠法令・条例等 務局中養護老人ホームの設置及び管理に関する条例、同条例 附則	
	項	01 社会福祉費				
	目	05 養護老人ホーム費				
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画	第6期高齢者福祉計画・第5期介護保険事業計画	

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

老人福祉法や社会福祉法に規定されている老人福祉施設である横川長安寮は、市が設置・運営を行っている養護老人ホームで、昭和31年6月に横川町立養老院(定員30人)として開設され、昭和57年2月に現在地横川町中ノ4752番地3へ移転新築(定員60人)された。入所されている方は、65歳以上の方で、環境上の理由及び経済的理由により、居宅で生活が困難な高齢者を行政責任において措置している。入所者に対しては、心身の健康の保持及び生活の安定のため、日常生活では、介護、食事、健康管理、生活相談を行い、また、生きがいを感じながら楽しく生活ができるように、さまざまな行事やイベント、クラブ活動等も実施している。

① 活動指標 (事務事業の活動量)		単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	入所者数(施設サービスを提供した人数)	人	32	40	31	40
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)	29年度 (見込)
ア	横川長安寮の入所者	人	32	40	31	40
イ						
ウ						

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	快適で明るい生活を送る。	件	0	0	0	0
イ						
ウ						

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつくのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)	29年度 (目標)
ア	介護・福祉サービスが受けられる	人	5,891	5,600	6,065	5,700
イ						
ウ						

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
(法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成18年4月1日に、養護老人ホームの設備及び運営に関する基準が改正され、入所者の介護保険利用が可能となる。また、入所者の高齢化が進み、身体機能の衰えや認知症の発症などにより特別老人ホームなどへ配置転換しなければならない入所者が増えた。入所者及びその家族の方々から、入所者が安心して生活できると喜ばれている。定員に対する充足率が低下していることに対して、議会から質問が出てきており、平成24年度3月には「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」のなかで、民営化の提言がなされている。

4. 事業費の推移		単位	26年度 (決算)	27年度 (予算)	28年度 (予算)	29年度 (計画)
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	その他	千円	26,643	24,934	24,684	21,272
	一般財源	千円	38,795	44,953	41,089	49,278
事業費		千円	65,438	69,887	65,773	70,481

5. 平成27年度の実績及び成果

(1) 平成27年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成27年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<p>【入所者の生活面での介助】 洗濯、入浴、看護、食事の提供、栄養管理、生活指導、健康管理、投薬管理、処遇計画、預金管理、各種保険料の納付などの介助を行った。</p> <p>【介護保険制度の活用】 介護保険の認定を受けている方で、本人の希望があれば介護サービス事業者と協議し、通所介護サービス等の利用を行った。</p> <p>【行事等の開催】 誕生会、花見、慰安旅行、七夕、夏祭り、敬老会、ソーマン流し、グランドゴルフ大会など季節の行事を行い、園外研修活動も実施した。</p> <p>【入所者の居室等の改善】 入所者のADLや入所者同士の関係に配慮しながら部屋替等を行った。</p>	<p>【入所者の生活面での介助】 入所者が健康で安心して毎日生活できるように、入浴の介助や生活指導、健康管理を行うなど、職員一人ひとりが入所者をサポートし、充実した園生活を送ることができた。</p> <p>【介護保険制度の活用】 介護保険の認定を受けている方で、本人の希望があれば介護サービス事業者と協議し、通所介護サービス等を利用してもらいADLの維持や向上、生きがいの持てる園生活を支援できた。</p> <p>【行事等の開催】 各種行事を開催し、季節感大切に。また、一日旅行やグランドゴルフ等の各種行事の開催により生きがいの持てる園生活を支援できた。</p> <p>【入所者の居室等の改善】 部屋替等を行うことにより、本人のADLに合った部屋の配置や入所者間の人間関係の修復・改善を行った。</p>

事務事業コード	0103010505030403	事務事業名	横川長安寮老人ホーム運営事業	担当部	保健福祉部
				担当課	横川長安寮

6. 振り返り <SEE(Check)>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	地域社会で支えることができない社会的な援助を必要とする高齢者を受け入れて養護することは、基本事業の意図に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	老人福祉法のなかで、居宅での養護が困難な場合は市が入所措置をしなければならないと規定されており、必要な施設ではあるが、平成17年度の国の三位一体改革で入所費用が市町村の一般財源により負担する形となったことや、設置・運営については市だけでなく社会福祉法人も可能なことから、必ずしも市で行う必要はない。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	施設の管理運営に関する苦情はないことから、成果が向上することはないが、入所者の希望をできるだけ叶え、生きがいを持てるように今後も努力していく。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input type="checkbox"/> 影響がある <input checked="" type="checkbox"/> 影響がほとんどない	養護老人ホームの設置・運営については、市だけでなく社会福祉法人も行えることから、事業が引き継がれれば影響はない。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？ <input type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 日当山春光園運営事業 他の施設と連携できる。
	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	入所者が、日常生活を営むために必要な食費・日用品費及び施設を維持するために必要な費用であり、削減することは難しい。
C 効率性	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	民営化により削減の余地がある。
	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	入所者の収入によって、負担金は39の階層区分の基準があり、該当する階層で負担額が決まっており公平である。また、受益の機会についても入所判定会を得て入所されており、公平性は保たれている。

7. 1次評価結果 <PLAN(Action - Plan)> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 < コスト縮小・連携・廃止 >					
(1)事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
	○			○			
(2)平成28年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	入所者が園での生活を毎日楽しく快適に過ごし、生きがいを見出せるように各種のサービスや行事等を工夫するなどして、職員一同努力するとともに、一人ひとりに合った介助を行う。 また、「霧島市保健福祉施設民営化実施計画」に基づき、民営化が決定した場合には、移行に支障をきたさないように事業を進めていく。						
(3)平成29年度の方向性(具体的な取組)	新たな入所者の受け入れを行いながら、各種行事やレクリエーションなどを通じて、入所者との対話の機会を増やす。 また、介護保険の認定者については、本人の希望を聞きながらサービスの提供を受けられないか、関係機関と連携調整を積極的に行う。						

8. 2次評価結果 (担当部長評価)		評価者	部局				
(1)事務事業の改革改善方向性	継続	やり方改善	事業拡充	連携	統合	休止	廃止
(2)総評							

